

月刊



平成23年12月1日発行 通巻191号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・2011年～2012年今後の
CPD認定プログラム情報 … 2
- ・建築関係五団体
合同年賀会のお知らせ …… 3
- ・(社)滋賀県建築士会
設立60周年記念事業
- ・平成23年度 第4期一級・
二級・木造建築士定期講習
開催のお知らせ …………… 4
- ・フォトコンテスト作品募集
- ・青年委員会 古民家再生
ワークショップ 報告 …… 5
- ・青年委員会
家族親睦旅行 報告 …… 6
- ・青年委員会『東京スカイ
ツリーの構造設計』事業報告
- ・滋賀県被災建築物応急危険度
判定士講習会報告 …… 7
- ・青年委員会
第19回近畿あーきてくと
2012地域実践活動発表会案内
- ・青年委員会 研修旅行の
お知らせ【予告】 …… 8
- ・平成24年経済センサス
- ・支部だより
湖北支部
- ・12月の暦
- ・アイ・湖国びと …… 9
- ・「あきんど号ラリー参戦記」… 10
〈最終回〉
- ・おうみ賢人



おうみ賢人
(第4回)

ほりいしんじろう
堀井新治郎 邸(東近江市・岡本)

近江八幡市より日野方面へ通じる旧道沿い、御代参道との合流する処に土蔵と屋敷跡が点在する一角がある。当地出身で謄写版を発明した堀井新治郎の屋敷と堀井家親族の住宅が立ち並んでいた処である、当地に残る堀井新治郎の本宅の一部である洋館(明治42年建築、国指定登録文化財)が「ガリ版伝承館」として平成10年に開館した。堀井新治郎は明治27年(1894年)に謄写版を発明し、東京神田で堀井謄写堂を開業し、その後の印刷機器開発と発展に貢献した。「ガリ版伝承館」では堀井新治郎と一緒に開発に取り組んだ息子耕造の偉業を紹介している。

2011年～2012年今後のCPD認定プログラム情報

講習・講座等内容の詳細につきましては、プロバイダーにお問い合わせください。

地域	日時	認定プログラム名	プロバイダー名	会場	単位
滋賀県	2012年1月8日	平成23年度 日本伝統建築棟梁研修講座	日本伝統建築技術保存会	米原会場	8
滋賀県	2012年1月9日	平成23年度 日本伝統建築棟梁研修講座	日本伝統建築技術保存会	米原会場	6
滋賀県	2012年1月9日	平成23年度「日本伝統建築技能研修(後期)」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	8
滋賀県	2012年1月10日	平成23年度「日本伝統建築技能研修(後期)」講座	日本伝統建築技術保存会	西日本会場	6
滋賀県	2012年2月8日	長寿命化リフォームセミナー(事業者向け)(A25-01)	一般社団法人住宅リフォーム推進協議会	大津商工会議所 9階 会議室1・2	3
京都府	2011年12月1日	仮設工事について その1	社団法人京都府建築士会	京都建設会館別館会議室	2
京都府	2011年12月6日	「天空率」講習	(社)京都府建築士事務所協会	本会3F会議室	2
京都府	2011年12月7日	長寿命化リフォームセミナー(事業者向け)(A26-01)	一般社団法人住宅リフォーム推進協議会	京都テルサ 西館3階 第1会議室	3
京都府	2011年12月9日	平成23年度 総合評価競争入札に関するセミナー(建築)	社団法人京都府建設業協会	メルパルク京都	6
京都府	2011年12月9日	「住宅瑕疵担保責任保険」まもりすまい保険」等について	社団法人京都府建築士会	京都建設会館講堂	2
京都府	2011年12月10日	古民家鑑定士認定講習	一般社団法人200年住宅再生ネットワーク機構	京都市西文化会館ウエスティ	3
京都府	2012年1月18日	古民家鑑定士認定講習	一般社団法人200年住宅再生ネットワーク機構	京都産会館	3
京都府	2012年1月30日	「住まいのエネルギーについて考える」第3回勉強会	社団法人京都府建築士会	京都建設会館別館会議室	2
大阪府	2011年12月2日	H23年度 建築工事実務講習会	社団法人日本建築協会	大阪府建築健保会館6Fホール	6
大阪府	2011年12月2日	平成23年度建築工事実務講習会	社団法人日本建築協会	大阪府建築健保会館6階ホール	7
大阪府	2011年12月2日	環境工学研究会(大阪)振興賞技術振興賞の成果報告	社団法人空気調和・衛生工学会	キャンパスポート大阪 ルームD+E	3
大阪府	2011年12月5日	木造計画・設計基準(平成23年版)講習会	社団法人公共建築協会	エルおおさか 大会議室	3
大阪府	2011年12月6日	既存木造住宅の耐震診断・改修講習会(限界耐力計算講習会)第2会場	社団法人大阪府建築士会	大阪府建築健保会館6階ホール	6
大阪府	2011年12月6日	既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針講習会(大阪会場1日目)	財団法人 日本建築防災協会	大阪天満研修センター	5
大阪府	2011年12月6日	長寿命化リフォームセミナー(事業者向け)(A27-01)	一般社団法人住宅リフォーム推進協議会	エル・おおさか 6階 大会議室	3
大阪府	2011年12月7日	既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針講習会(大阪会場2日目)	財団法人 日本建築防災協会	大阪天満研修センター	5
大阪府	2011年12月7日	第12回講演会「建築紛争の現状と課題(その3)」 —大阪地方裁判所における建築裁判から—	社団法人日本建築学会	建設交流館8階グリーンホール	4
大阪府	2011年12月7日	被災建築物の応急危険度判定養成講習会(第4会場)	大阪建築物震災対策推進協議会	大阪府建築健保会館6階ホール	4
大阪府	2011年12月9日	基礎から学べる構造設計シリーズS造編—基礎II コース—【第1日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年12月9日	木のいえづくりセミナー	木構造振興株式会社	梅田センタービル	4
大阪府	2011年12月9日	会員会勢委員会女性分科会 シルバーライフ研究会12月例会「高齢者住宅の種類と選び方」	社団法人大阪府建築士会	(社)大阪府建築士会 会議室	2
大阪府	2011年12月10日	基礎から学べる構造設計シリーズS造編—基礎II コース—【第2日目】	一般財団法人日本建築センター	大阪府建築健保会館	6
大阪府	2011年12月10日	木のいえづくりセミナー	木構造振興株式会社	梅田センタービル	4
大阪府	2011年12月14日	木耐協 耐震技術認定者講習会	日本木造住宅耐震補強事業者協同組合	グランキューブ大阪	6
大阪府	2011年12月15日	「環境に配慮した建築物」講習会	社団法人 大阪府建築士事務所協会	大阪府建築健保会館5階会議室	4
大阪府	2011年12月16日	平成23年度第3回建築技術講習会～知っておきたい実践のものづくり～	社団法人大阪府建築士会	エル・おおさか南館5階南ホール	5
大阪府	2012年1月10日	会員会勢委員会女性分科会 住・空間らぼ1月例会	社団法人大阪府建築士会	(社)大阪府建築士会 会議室	2
大阪府	2012年1月19日	木造軸組構法住宅の構造計画に関する技術講習会(M27-01)	一般社団法人木を活かす建築推進協議会	エル・おおさか	4
大阪府	2012年1月28日	近畿あーきてくと2012 第19回地域実践活動発表会 縁 ～未来につなぐ、ひと・まち・くらし～	社団法人大阪府建築士会	学校法人常翔学園(大阪工業大学)大阪センター	5
大阪府	2012年2月9日	木造住宅の耐震改修に関する技術講習会(T27-01)	一般社団法人木を活かす建築推進協議会	天満研修センター	4
大阪府	2012年2月9日	会員会勢委員会女性分科会 シルバーライフ研究会2月例会「建築家による高齢者はどこに住む」	社団法人大阪府建築士会	(社)大阪府建築士会 会議室	2
大阪府	2012年2月10日	2011年度VE等施工改善事例発表会	社団法人日本建設業連合会	エル・おおさか	4
大阪府	2012年3月9日	会員会勢委員会女性分科会 シルバーライフ研究会及び住・空間らぼ 3月合同例会	社団法人大阪府建築士会	(社)大阪府建築士会 会議室	2

建築関係五団体合同年賀会のお知らせ

例年恒例となっております、《平成24年 新春の集い》を建築関係五団体と合同で開催いたします。ぜひご出席ください。よろしくお願いいたします。

◆開催日：平成24年1月13日(金)

◆場所：大津プリンスホテル コンベンションホール「淡海」
大津市におの浜4-7-7 TEL.077-521-1111

◆受付：15:30～ ◆年賀会：16:00～ ◆会費：5,000円

◆交通手段：大津駅前よりホテルのバスをご用意しております。
ご利用下さい。

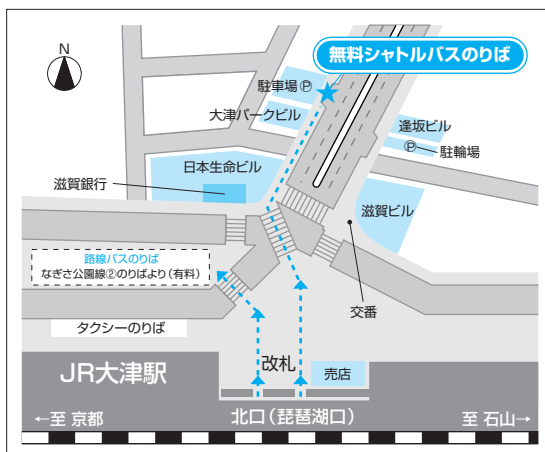
大津駅日本生命ビル（琵琶湖側へ50m先）発
①15:10 ②15:30（シャトル便） ③15:40

◆申込方法：同封のはがきをご出席していただけるかたのみご
投函下さい。

一事務所もしくは一事業所から何名ご出席して
いただいてもかまいませんが、必ずご出席くださ
います方全員のお名前をご記入下さい。

◆申込締切：平成23年12月26日(月)

◆共催：(社)滋賀県建築士会、(社)滋賀県建築士事務所協
会、(社)滋賀県建築設計家協会、(社)日本建築家
協会近畿支部滋賀地域会、滋賀県建築設計監理事業協同組合



(社)滋賀県建築士会設立60周年記念事業

第3回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展と 第5回「建築士の日」フェスティバルのお知らせ

県内幼稚園の方々、各関係者の皆様にご協力いただき、ご好評いただいている「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展も、第3回を開催させて頂くこととなりました。今回も、イオンモール草津店 イオンホールにて開催いたします。

また、今回は「建築士の日」フェスティバルも同時開催とし、より一層、滋賀県民の皆様、(社)滋賀県建築士会の存在をアピールすると共に建築士の役割を知って頂きたいと思っております。

第3回「未来の家」「未来のまち」子ども立体作品展

【日次】平成24年2月4日(土)～2月5日(日)

午前10:00から午後5:00まで

【場所】イオンモール草津店 イオンホール
(2階ダイソー横)

【内容】県内幼稚園児の立体作品の展示、
機関誌「家」フォトコン作品展示、投票

第5回「建築士の日」フェスティバル

【日次】平成24年2月4日(土)

午前10:00～午後3:30まで

【場所】イオンモール草津店1階レストラン街前広場
【内容】起震車「グラドン号」地震体験や防災、火災予防の啓発、耐震診断・耐震改修の啓発、建築・住まいの相談会、耐震・リフォーム相談会、高校生作品の展示、小学生「家」絵画作品の展示、(社)滋賀県建築士会 活動報告の展示等



昨年の様子

平成23年度 第4期 一級・二級・木造建築士定期講習開催します!

平成20年11月28日に施行された新建築士法の規定により、建築士事務所に所属する一級・二級・木造建築士に対し、それぞれ定期講習を3年ごとに受講することが義務付けられています。経過措置として、平成24年3月31日までに最初の定期講習を受けなければいこととなっておりますが、今回が経過措置期間内最終開催となります。また、既に平成20年度に第1回目を受講された方が第2回目を受講されますので、定員に達してしまい受講できない可能性もございます。まだ1度も受講されていない所属建築士の方は、必ず受講をお願いいたします。

お申し込み
ください!!

◆講習日：草津会場：平成24年2月15日(水)

彦根会場：平成24年3月8日(木)

◆講習場所：草津会場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

草津市野路東1-1-1

彦根会場：ひこね燦ばれす

彦根市小泉町648-3

◆定員：各会場とも200名 ※定員になり次第、締め切ります。

◆配布期間：随時

◆配布・申込時間：午前9時30分～午後4時30分

◆配布・申込場所：(社)滋賀県建築士会事務局

◆配布価格：無料(受講申込者1人に1部)

郵送での配布については、「定期講習受講申込書希望」と明記の上、送付先住所・氏名を記入したA4サイズの封筒に(1部希望の場合)140円切手を貼ったものを、(社)滋賀県建築士会へ郵送して下さい。または、(財)建築技術教育普及センターのホームページ《http://www.jaeic.or.jp/k_teiki-form_download.htm》からダウンロードもできます。

◆受講手数料：テキスト代を含む**15,750円**(内消費税750円)

◆申込期間：平成23年11月28日(月)～12月22日(木)

◆申込方法 ●窓口での受付：(社)滋賀県建築士会までお越しください。代理の方でも構いません。

●郵送での受付：簡易書留郵便にて(社)滋賀県建築士会まで送付してください。後日、こちらから受講票を送付いたしますので、宛先を明記し、80円切手を貼付した返信用の封筒(長3：12cm×23.5cm)を同封しておいてください。申込締切日の消印のあるものまで有効です。料金別納・後納郵便については申込締切日までに到着したものに限り、記載内容の不備・必要書類が揃っていないものは受付できません。

◆お問合せ：(社)滋賀県建築士会事務局 TEL.077-522-1615

※詳しくは11月号をご覧ください。



フォトコンテスト作品募集

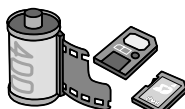
(社)滋賀県建築士会では、フォトコンテストを開催いたします。今年のテーマは1部「フリー」、2部「棲み家(すみか)」で募集いたします。

会員のみなさまの自慢の作品をお待ちしております。

作品のテーマ

1部 「フリー」(風景・建物などテーマは問いません)

2部 「棲み家(すみか)」



2011年 大賞「白壁と桜」



応募要項

応募資格

特に制限は致しません。但し、作品は自作に限ります。

応募作品

4つ切（カラー・モノクロ）、ワイドタイプ可
作品は未発表のものに限ります。また撮影時期、応募点数は問いません。（今回に限り、電子データによる応募も受け付けます。ただし、その場合は印刷等すべてお任せとなります。応募点数は1点のみです。）

表彰

*大賞賞金1万円 *入選賞金5千円

募集期間

平成23年10月～12月

審査

イオンモール草津にて展示し、一般の人の投票によります。

発表

平成24年5月ごろに、機関誌「家」及び滋賀県建築士会ホームページにて発表
(<http://www.kentikushikai.jp/>)

応募方法

下記応募票に必要事項をご記入していただき、作品の裏面に糊付けの上、(社)滋賀県建築士会事務局までご持参いただくか、郵送にお送りください。（必要事項を記入したメールによる応募も受け付けます。）

送り先

〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階
（社）滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL.077-522-1615

応募細則

1. 入選作品の著作権は、主催者に帰属します。選外作品であっても使用することがあります。肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が得られているものとします。
2. 応募作品は返却いたしません。ただし、返却希望者は郵便切手（500円分）を同封頂ければ返却いたします。
3. 応募票に記載された個人情報、当コンテスト以外には使用いたしません。
4. 応募は会員・会員の家族とさせていただきます。

主催団体

社団法人滋賀県建築士会

※詳しくは11月号をご覧ください。

青年委員会

古民家再生ワークショップ 報告

第一部会では、今年度から次年度にかけて、近江八幡市大房町にて「古民家再生ワークショップ」事業を計画、実施しております。

ギャラリーを運営されるお施主様のご好意により始まったプロジェクトで、もともと蔵であった場所を学生達と共にコミュニティスペース（子育てママが集う）に転用させようという事業です。

第一回目は10月8日(土)に開催し、晴天に恵まれた中、滋賀県立大学人間文化学部の濱崎一志教授、ポリテクカレッジ滋賀住居環境科の佐橋純准教授をお招きして二校の学生さんと共にお二人の講義や八幡堀散策等、盛り沢山の内容で幕開けしました。

少子超高齢社会の一途を辿る日本を国勢調査をもとに世帯における子供の人数の割合へと展開していく講義と八幡の歴史や風土といったものから建築に繋がる講義をお二方に幅広くお話して頂きました。その後は皆で八幡堀を散策。八幡に古くから残る古民家を数件見せて頂き、実際にお住まいになられている方からお話をお聞きしたり、先生に建具や庭の説明をして頂いたりと色濃い時間でした。

第二回目は10月22日(土)に開催。前回参加して頂いた二校の皆さんに加え、前回都合により参加できなかったびわこ学院大学短期大学部の谷口浩志教授と学生さんにも参加していただき、三校合わせて約20名の先生、学生さんに参加いただきました。内容としては、対象の蔵を現地実測した後、ワークショップでより効果的な蔵の利用方法について議論してもらうという内容で開催しました。当日は大変な盛り上がりで、参加した建築士会青年委員会のメンバーと学生さんとも交流を深めることが出来ました。

この事業は学生さんだけでなく、我々建築士会青年委員会メンバーにとっても有意義な時間を過ごすことができる事業であると思います。今後も第三回、四回と続けていく中で、より一層、魅力的な事業にしていきたいと考えておりますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します！



11月6日(日)小雨の降る中、早朝より会員と会員のご家族総勢44名で、福井県方面に家族親睦旅行に行ってきました。まず、午前中は越前市にある「越前和紙の里 パピルス館」で和紙作りの体験でミニうちわを作りました。世界に一つしかない個性あるうちわが作れました。

昼からは、勝山市にある「福井県立恐竜博物館」を見学しました。黒川紀章氏の設計の建物で広大な無柱空間に、恐竜骨格や復元模型や化石が数多く展示してありました。子ども達より大人の方が興奮していたかもしれません。帰りには、日本海さかな街で海の幸を買い、バスの中ではビンゴ大会が開催され、会員同士またご家族同士の親睦がはかれたのではないのでしょうか。

ご参加いただきました会員の皆様、ご家族の皆様一日の旅、ありがとうございます。また、申し込み多数で残念ながら家族親睦旅行に参加していただけなかった皆さん申し訳ございませんでした。

来年度も、皆さんが楽しめる企画を考えますので、青年委員会家族親睦旅行にご参加ください。



社団法人滋賀県建築士会 設立60周年記念事業
「あーき塾2011」特別講演会
『東京スカイツリーの構造設計』 事業報告

青年委員会は、去る11月11日(金)に、守山市のRiseville都賀山で、あーき塾2011を開催しました。

今回は、株式会社 日建設計 構造設計主管の小西 厚夫 氏を講師にお招きし、「東京スカイツリーの構造設計」と題し、東京スカイツリーの計画概要・耐震、耐風構造・基礎構造・最先端技術、そして伝統的日本建築を意識したデザイン等について、少し専門的なお話も含め、ご講演を頂きました。構造設計に直接携わられた本人からの、貴重なお話しをして頂き、大変感銘を受けました。

当日は、140名を超える方々にご参加頂き、ありがとうございます。今回のあーき塾には、初めて参加頂いた方も多くおられ、青年委員会の活動を知って頂けたと思いますし、会員外や学生の方々には、建築士会のアピールもつながつたと思います。また、今回は滋賀県建築士会設立60周年記念事業として開催させていただき、宮本和宏守山市長も駆け付けていただき、お祝いのお言葉を頂きました。

青年委員会では、今後も講習会や現場見学会などを、あーき塾として開催していきたいと考えております。次回以降も、多くの方にご参加頂けるよう、企画等行っていきたくと思いますので、是非ともご参加頂けますよう、お願いいたします。



講演会の様子①



講演会の様子②



講師：小西厚夫氏

滋賀県被災建築物応急危険度判定士講習会 報告



本年10月31日をもって有効期限が満了する「滋賀県被災建築物応急危険度判定士」の新規および更新登録講習会が、県内2ヶ所の会場で開催されました。(主催：滋賀県、事務委託：(社)滋賀県建築士会)

彦根会場で10月27日(参加者279名) 大津会場で11月17日(参加者420名)に開催され、既存判定士354名を含め1,053名の「応急危険度判定士」が登録されました。(内新規登録者240名)

本登録制度創設以降、民間判定士の派遣の機会がなかなか無い状況ですが、本年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震を踏まえ、本県ならびに近隣府県等が被災した場合に備えて、意義ある講習会になったと思います。

青年委員会

第19回近畿あーきてくと2012 地域実践活動発表会 緑 ～未来につなぐ、ひと・まち・暮らし～ ご案内

本年度は「緑」をテーマに、近畿2府4県での様々な地域実践活動を御紹介すると共に、和歌山大学の本田友常氏に御講演頂きます。地域や人に建築・建築士が出来ることは何か…一緒に考えてみませんか。発表会後には講師・発表者の方々との交流パーティーも開催します。

【日 時】 平成24年1月28日(土) 13:00～18:00(12:30開場)

【会 場】 学校法人常翔学園(大阪工業大学)大阪センター

大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社 毎日インテシオ3F

【参加費】 500円(学生無料)

【CPD】 5単位

【会 場】 ブリーゼプラザ(開催場所近く) 大阪府大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー7・8F

【講 演】 本田友常氏(和歌山大学システム工学部環境システム学科)

【交流パーティー】 18:30～20:30(参加費5,000円)(学生3,000円)

※詳しくは1月号でご案内します。

第19回近畿あーきてくと2012 地域実践活動発表会

氏 名	勤務先(学校名)	住所	連絡先(TEL・FAX)
会員・一般	士会名	支部名	交流パーティ 参加・不参加
氏 名	勤務先(学校名)	住所	連絡先(TEL・FAX)
会員・一般	士会名	支部名	交流パーティ 参加・不参加

お申し込みはFAXにて・・・(社)滋賀県建築士会 事務局 <FAX.077-523-1602> (お問い合わせは… TEL.077-522-1615)

今年度も開催いたします!青年委員会 研修旅行!!今回の研修先は、熊本県です。
今年3月12日に開通した九州新幹線に乗って、熊本まで行きます。
詳しい行程や研修内容は、次号にて案内をさせていただきます。お楽しみに!

- ◆予定行程：平成24年3月上旬
- ◆予定見学先：熊本駅・熊本城・阿蘇山 他
- ◆募集定員：40名(会員及び家族会員)



熊本城



阿蘇山



熊本駅



平成24年経済センサス—活動調査を実施します。



経済センサスキャラクター

- 平成24年2月に全ての企業・事業所を対象とした経済センサス—活動調査を実施します。
- 調査結果は、各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として活用されます。
- 支社等のない事業所等には、調査員が直接伺い、調査票を配付します。
- 支社等を有する企業等には、国、都道府県及び市が、民間事業者を通じて本社等に調査票を郵送し、インターネット又は郵送で回答していただきます。
- 調査の趣旨・必要性を御理解いただき、御回答をよろしくお願いたします。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村

支部だより

湖北支部

第2回講習会「建築用コンクリート研修会」を開催

湖北支部では、去る10月14日、勤労福祉会館にて、建設業協会長浜支部の建築施工管理技師会と共催で「建築用コンクリート研修会」を開催しました。

講師に(株)HALシステム設計の安中真介氏あんなかしんすけを迎え、日頃、良く使う材料であるコンクリートについて再度基本から見直す事ができる良い機会となりました。

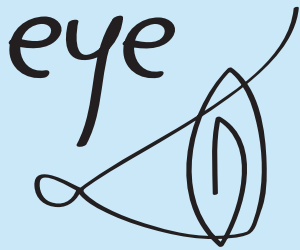
コンクリートに関する基本的な事項から始まり、氏の現在の会社が現在、建設企業向け基幹統合システム開発、導入支援とそれに付随した業務改革支援を行なっていることから、現場のコストダウンや入札での失敗談や成功談、建設業界全体の話などお聞きする事ができました。

また、以前勤務されていたゼネコン時代のエピソードとして、安藤忠雄氏の現場での苦労や、クラック1本でやり直しとなる原発施設でのコンクリート工事での苦労、福島原発の圧力容器の中に入った事もあるという経験談なども飛び出し興味深い研修会となりました。



12月の暦

1	木	大安		10	土	友引	四役会	22	木	友引	
2	金	赤口	・女性委員会・四役会・理事会・評議員会・OB懇親会	11	日	先負		23	金	先負	天皇誕生日
3	土	先勝		12	月	仏滅		24	土	仏滅	
4	日	友引		13	火	大安		25	日	赤口	
5	月	先負	二級・木造建築士新規登録集中受付(9日まで)	14	水	赤口		26	月	先勝	
6	火	仏滅		15	木	先勝		27	火	友引	
7	水	大安	第3期定期講習	16	金	友引		28	水	先負	
8	木	赤口	情報広報委員会	17	土	先負		29	木	仏滅	
9	金	先勝	・青年委員会第7回ゴルフコンパ ・青年委員会	18	日	仏滅		30	金	大安	
				19	月	大安		31	土	赤口	
				20	火	赤口					
				21	水	先勝					



— アイ・湖国びとの愛情視線 —

第7回 船大工 松井光照さん

祖父の技、受け継ぎ 丸子船が浮かぶ琵琶湖を



まつい みつてる
松井 光照さん

1980年、滋賀県大津市生まれ。大阪摂南大学工学部建築科卒業。同市本堅田の琵琶湖湖畔にある松井造船所の3代目として船大工の修行の励む。

「丸子船をいつか琵琶湖に浮かべることが僕の夢です」と話すのは、木造船を新造できる県内で唯一の造船所“松井造船所”の若き三代目松井光照さん（31）。琵琶湖の船大工の技術を継承しようと日々修行に励んでいる。

木の香に満ちた作業場が幼いころの遊び場。祖父と父の仕事ぶりを身近に感じながら、将来は自分も船大工になると思うのはごく自然なことだった。

木造船の注文は少なく、琵琶湖で稼働する船も減り、厳しい造船業界の現状に父、三男さん（64）は心配したが、大学卒業後1年間のサラリーマン生活を経てもその気持ちは変わらず、2005年に後を継いだ。「そんな時代だからこそ誰かが継がなければ途絶えてしまう。船大工の家に生まれた自分にしかできない。使命感に似た気持ちがありました」と振り返る。



祖父、三四郎さんが残した
木造船模型の数々

かつては堅田だけでもおよそ100軒の造船所があったという。木造船造りに設計図はなく、個々の技法は船大工の頭の中にだけに蓄積されていた。「技術は見て盗むもの」そんな職人の世界と光照さんをつなぐのは琵琶湖最後の船大工と呼ばれた祖父、故三四郎さん（享年92歳）が残した模型だ。江戸時代を全盛期として多数行き交った琵琶湖の水運の花形、丸子舟をはじめ、

漁業船、筏運び船などの木造船の数々が十分の一の縮尺で精工に作られている。

「技術はもちろん、デザイン性の高さにも驚かされます」。根曲がりした木を使い、水が入らないように木の皮をほぐして作った縄を隙間に詰める。木と木を接合した部分の腐食を防ぐために貼りつける銅版は装飾も兼ね、先端部を正面から見ると顔のよう。どの船にも個々の特徴があり、日々の暮らしを支えた船を大切にしていた持ち主の思いも垣間見える。

京都の西本願寺や、福井県の蓮如聖人記念館などに木造船を納めた。木造船の注文は年に1、2件、少なくとも学ぶ機会がある。そのひとつひとつを大切にしながら技術を覚える。船釘を作る加治屋がなくなってしまったので鉄を打つことも仕事の一つ。「一生取り組んでも半人前」と言われる船大工の世界を一步ずつ進む日々。

人付き合いが良く、気さくで優しい人柄だった祖父。幼いころはよく自転車に乗って二人で散歩に出かけた。「3代目を継いだときは喜んでくれました。一緒に仕事したのはわずか1年余りで、教わりたいことはまだまだありました」。それを補うかのようにたくさん模型が「盗めよ」と語りかける。今、取り組んでいるの仕事は丸子船の模型作り。作業場から見える琵琶湖に丸子船を浮かべた風景を思い描きながら祖父の技を鏡として受け継いでいる。



丸子船の模型を作る光照さん

（取材：M・Y）

あきんど号ラリー参戦記

新たなる参戦、
アジアンラリー2011

2011年第16回アジアンラリーはチーム「あきんど号」にとって大きな変化があった。

俳優の哀川翔氏がFLEX GEOLANDAR Show Aikawa World Rally Teamを結成してアジアンラリーに参戦したのだ。翔さんは映画「SS」でラリードライバーの役を演じ、それがきっかけで国内ラリー4年、アメリカでは4000mを超える山を一気に駆け上るパイクスピークに参戦している。今回、チーム1号車のドライバーに哀川選手、コドライバーに、2006年モンテカルロラリー（PWRC）で日本人初優勝、2009年全日本ラリーでは8度目の総合チャンピオンに輝いた奴田原文雄選手。2号車は我々チーム「あきんど号」の山本・辻本である。アジアンラリー参戦13回、すべて完走したことを見込まれ、哀川選手が無事ゴールできるように「完走請負人」として参戦する事になった。マシンは、昨年12月から国内販売も始まり、今最も注目されているトヨタFJクルーザー、V6 4リッターガソリンエンジンである。チームは、メカニック・テレビクルーを含めて総勢30名を越える。とは言うものの、アジアンラリーを知っているのは我々二人だけであり、本当に完走、いやレース自体できるのか不安なまま8月4日、タイ・バンコク入りした。そこで初めて自分たちの乗るマシンと対面し、スタート地であるパタヤまで移動しながらラリーコン等の調整を行った。幸い大きな問題もなくレース車検に合格し、パタヤでもっともにぎやかな「ウォーキングストリート」でセレモニースタートをすることができた。哀川選手の1号車を我々2号車がフォローをするという作戦でスタートしたが、実質的なラリー初日後半で、1号車がジャングル内の狭くて緩い右コーナーでイン側のタイヤを踏み外し、10m下の崖に落ちるところであった。幸い大木があって右前ドアに引っかかり辛うじてセーフ。2号車のウィンチと直後に追

いついた日本人チームに手伝って貰いレースに復帰することができた。Leg3・SS3は202.9kmマックスタイム6時間である。前半114km地点にPCがあるがその中間点で1号車が左路肩にタイヤを落としてしまった。この時は2号車で引き上げ前半を走りきったが、4時間近くタイムを使ってしまった。後半ペースをあげて我々が先を走る事にするが、猛烈なスコールで超スリッピーな状態、後ろを走る1号車からタイムオーバー&ペナルティ覚悟のスローダウンの無線が入った、「了解です」と返事はしたものの半分無視した状態で、諦めずに必死の走りで2台とも無事ホテルに到着。ホテルでその日のリザルトを見ると、まるで計算したかのように数分残して2台ともノーペナルティだった、チームは歓喜の声を上げて盛り上がった。Leg4以降はチームもまとも、哀川選手の走りも日々よくなる。2002年以来二度目のアンコールワット（カンボジア）のゴール地に8月11日、明るい時間帯に1号車2号車とも揃って無事ゴールする事ができた。初参戦の哀川選手はクラス3位・総合8位、我々もクラス2位・総合7位の好成績を収める事ができた。多方面から注目されるFJクルーザーを、大きなダメージ、トラブルもなく2台とも無事ゴール地に運べたこと、予想以上の結果が残せたことに「ホッ」としたのであった。

今回は、長年二人だけで参戦していたチーム「あきんど号」が縁あって、大所帯のチーム体制での参戦となりましたが、無事に完走記録ものぼす事ができました。来年の参戦は未定ではありますが、気持ちは変わりません。56歳のおじさんチームががんばっています。そして、がんばれば結果がついてくる事を信じています。今後ともご声援よろしくお願い致します。

1年間ありがとうございました。

湖東支部 辻本隆志 <http://www.zb.ztv.ne.jp/jk3r1t/>



FJクルーザー1号車・2号車



ラリースタート直前のチーム翔の4人、パタヤにて。



ゴール地、車が乗り入れられないアンコールトムをバックに日本チームの4台



奴田原選手からあきんど号にプレゼント

おうみ賢人 堀井新治郎

堀井家は近江源氏佐々木氏家臣であったが、織田信長に滅ぼされて以後商人に転じ、関東への麻布の行商をはじめ江戸時代後期には関東で酒、醤油の醸造業を営み近江商人として活躍した。明治16年に竜王出身の新治郎が堀井家に入り、自らの業務での事務文書の簡便な処理を行うために必要な機械として謄写版を発明した。堀井家屋敷は主屋をはじめとする十棟を越す建物や回遊式庭園があったとされ屋敷周辺には石垣と分家、親族の屋敷跡、土蔵建屋が残る。現在岡本地区では伝承館を中心とした芸術村構想が進行中である。

(参考文献:近江商人のベンチャービジネスより)

